

湖山消防署化学消防ポンプ自動車の譲与について

1. 経緯

鳥取県から鳥取空港の運営を委託されている鳥取空港ビル(株)から、

- 鳥取空港は、ボーイング767-300（全長54.9m、胴体幅5.03m）が就航しているため、空港カテゴリー「8」に分類され、配備が必要な空港救難消防車両の「泡生産用水量」は、18,200ℓ以上、放射量は毎分7,200ℓ以上とされている。また、化学消防車を最低3台を確保する必要がある。
- 現在、鳥取空港にある化学消防車の積載水の合計は29,100ℓで、基準を満たしているが、点検・修理時には台数及び泡生産用水量が基準を満たさないため、本組合消防局の化学消防車（IV型）を譲り受けたいというもの。

2. 譲与に係る根拠法令

○鳥取県東部広域行政管理組合財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例

第6条 物品は、次の各号のいずれかに該当するときは、これを譲与し、又は時価より低い価額で譲渡することができる。

- (1) 公益上の必要に基づき、他の地方公共団体その他公共団体又は私人に物品を譲渡するとき。

上記の経緯等を踏まえ、無償による譲与としたい。

【参考】

空港カテゴリー分類区分表

カテゴリー	飛行機全長（※）	胴体最大幅	
1	0 m～9 m未満	2 m	
8	49 m～61 m未満	7 m	鳥取空港
9	61 m～76 m未満	7 m	
10	76 m～90 m未満	8 m	

化学消防車の最低数量

カテゴリー	台数	
1	1	
8	3	鳥取空港
9	3	
10	3	

配備されるべき防災レベル

カテゴリー	放射量（ℓ/分）	泡生産用水量（ℓ）	
1	230	230	
8	7,200	18,200	鳥取空港
9	9,000	24,300	
10	11,200	32,300	

鳥取空港配備の化学消防車の積載水量

車両名	積載水量（ℓ）
1号車	6,100
2号車	12,500
3号車	10,500
合計	29,100

※鳥取空港に就航している航空機で最大のもの（ボーイング767-300）

【湖山消防署化学消防ポンプ自動車（IV型）】

平成12年3月配備

ポンプ性能 A1級（放水量2,800ℓ/分以上）
 積載水量 2,000ℓ
 積載薬液量 1,600ℓ

